

2007年10月18日

カナダ Octasic Inc. 社が開発した 次世代マルチコア ゲートウェイ DSP 「Vocallo」 の販売を開始

先端エレクトロニクス商社の丸文株式会社（社長：佐藤 敬司、本社：東京都中央区、資本金：62億1,450万円、以下丸文）は、通信機器向け半導体のファブレスメーカーであるカナダ **Octasic Inc.**（CEO：Michel Laurence、本社：カナダ モントリオール、以下 オクタジック社）が新しく開発した、音声、ビデオ、データ オーバーIP アプリケーション用の次世代マルチコア ゲートウェイ DSP 「Vocallo」 の販売を開始いたしましたので、お知らせします。

<マルチコア ゲートウェイ DSP Vocallo>

VocalloはOctasic独自のDSPコアアーキテクチャである「Opus」に基づいて開発された、音声、ビデオ、データ オーバーIP アプリケーション用の次世代マルチコア メディア ゲートウェイ DSP です。非常に高い柔軟性と拡張性をもち、OEM が自由に機能を選択し、独自のソフトウェアやアップグレードを組み入れることを可能にしました。また、機能やチャンネル数をそれぞれのライセンス契約にて拡張できるため、コストパフォーマンスを実現する製品開発が可能になります。

小規模 IP-PBX から大規模メディアゲートウェイまで、日々進化するアプリケーションに幅広く応用が可能です。

*Vocallo ソリューションの詳細は、添付オクタジック社資料をご覧ください。

<Opus アーキテクチャとは>

Opus は、オクタジック社がこの度開発した、通信装置用 DSP の基本的デザインを変える、新しい DSP アーキテクチャを採用した高性能非同期 DSP コアです。

新しいクロックレスアーキテクチャを搭載し、1 デバイスに 1.5GHz 動作の高性能コアを 15 個組み込むことが可能です。

非常に高い電力効率を持ち、従来品と比べ同消費電力あたり約 2 倍のチャンネル密度を実現しました。

*Opus アーキテクチャの詳細は、添付オクタジック社資料をご覧ください。

Vocallo の製品概要については弊社 WEB サイトも合わせてご覧ください。
<http://www.marubun.co.jp/product/semicon/assp/qgc18e000003blf4.html>

<オクタジック社について>

本 社 : 4101 Molson Street, suite 300 Montreal, Quebec H1Y 3L1 Canada

設 立 : 1998年5月

代表者 : Michel Laurence Chairman & CEO

事業内容 : VoP (Voice over Packet) コミュニケーション装置用のクラス最高のシリコン ソリューションをデザイン、販売、サポートしているファブレス半導体メーカー。アメリカ、ヨーロッパ、アジアの主要なテレコミュニケーション・ベンダーによって製造された VoP 装置に広く採用されている。

オクタジック社の詳細については、<http://www.octasic.com/> をご覧ください。

<丸文株式会社について>

本 社 : 東京都中央区日本橋大伝馬町 8-1

設 立 : 1947 年 7 月

代表者 : 代表取締役社長 佐藤 敬司

従業員 : 1,181 名 (2007 年 3 月末連結)

資本金 : 62 億 1,450 万円

売上高 : 2,756 億円 (2007 年 3 月期連結)

事業内容: 集積回路を中心とした半導体、電子応用機器など、国内外の最先端エレクトロニクス製品を販売する商社。テキサス・インスツルメンツ社やブロードコム社、アルテラ社などの大手代理店。また、世界規模のネットワークを持つ大手半導体ディストリビュータである 米国 Arrow Electronics, Inc. と事業提携し、Marubun/Arrow, ASIA, Marubun/Arrow, USA を設立。海外へ生産移管するお客様に対し、グローバルレベルでのサービスサポートを実現している。
丸文では 2004 年より国内代理店としてオクタジック社製品を取り扱っている。
東京証券取引所市場第 1 部に上場。(コード番号: 7537)
丸文株式会社の詳細については、<http://www.marubun.co.jp/> をご覧ください。

Vocallo 技術セミナーのお知らせ

オクタジック社による「Vocallo」ならびに「Opus アーキテクチャ」の技術セミナーを下記の通り開催いたします。参加費用は無料です。

日時: 2007 年 11 月 26 日 (月)

会場: カナダ大使館 (〒 107-8503 東京都港区赤坂 7-3-38)

11:30 - 12:00 受付

12:00 - 13:00 昼食

13:00 - 16:00 Opus コア & Vocallo 最新技術に関するセミナー

参加ご希望の方は、下記ページよりお申し込みください。

当日は昼食の用意もございます。

<http://www.octasic.com/japan/seminar>

この製品に関するお問い合わせ先

丸文株式会社 マーケティング本部主管第 2 部

担当: 成 舞 (ナルマイ)

東京都中央区日本橋大伝馬町 8-1 〒103-8577

TEL: 03-3639-8951 FAX: 03-5645-5330

E-mail: ynarumai@marubun.co.jp

このニュースリリースに関するお問い合わせ先

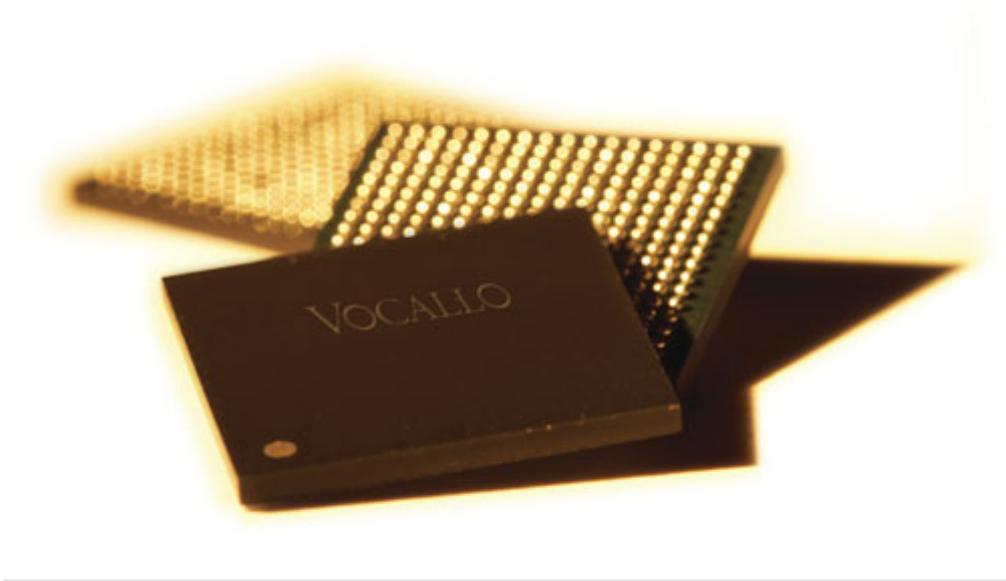
丸文株式会社 広報室

担当: 杉村 (スギムラ)

東京都中央区日本橋大伝馬町 8-1 〒103-8577

TEL: 03-3639-9803 FAX: 03-5644-7693

E-mail: koho@marubun.co.jp



カナダ Octasic Inc.
次世代マルチコア ゲートウェイ DSP[Vocallo]

Octasic は強力なマルチコア メディア ゲートウェイ DSP を発表

*Vocallo の独自のライセンス契約が新しいビジネス モデルを可能にしました
革新的な Opus DSP アーキテクチャを活用した初の Octasic 製品 です*

カナダ、ケベック州モントリオール – 2007 年 10 月 16 日 – メディア処理ソリューションのリーディング・イノベータである Octasic, Inc. は本日、音声、ビデオ、データ オーバーIP アプリケーション用の次世代マルチコア ゲートウェイ DSP プラットフォームを発表しました。Vocallo は、高い柔軟性にクリアな音声とビデオ品質を組み合わせ、現在と未来のメディア ゲートウェイに対応した最も統合的なソリューションを実現します。

拡張可能なメディア ゲートウェイ ソリューションである Vocallo は、通信機器メーカー様がメディア ゲートウェイを設計する際、新しい柔軟なビジネス モデルを可能にする、この種で初の DSP プラットフォームです。このビジネス モデルは、今日のボイス オーバーIP (VoIP) のニーズに対処するために 通信機器メーカー様がコストを軽減したゲートウェイを設計することを可能にし、ライセンス契約に基づいてアップグレード可能な将来的なアプリケーションに対応する性能を備えています。ライセンス契約に基づくため、そのアップグレードした機能を顧客が必要とするまで通信機器メーカー様 はアップグレードする新しい機能に対するライセンスフィーの支払いをする必要はないのです。

小規模 IP-PBX から大規模メディアゲートウェイまでソフトウェア・ハードウェア共に基本部分は統一アーキテクチャで構成することが可能になるわけです。

Octasic のプロダクト・マネージメント・グループ、ダイレクターの Frederic Bourget は次のようにコメントしています。

「お客様の要求事項は絶えず変化しているため、メディア処理デバイスには柔軟性と拡張性の拡大が必要になります。Vocallo は、OEM が自由に機能を選択し、独自のソフトウェアやアップグレードを組み入れることを可能にする、今日唯一のソリューションです。Vocallo は強力な柔軟性があり、現在のアプリケーションにも将来のアプリケーションにも対応可能な包括的なソリューションです。」

Vocallo は、Octasic の独自の DSP コア アーキテクチャである Opus に基づいています。Opus は、スタンダードなプログラミング モデルを使用して、業界でもトップクラスの非常に高い電力効率(性能対消費電力比)を提供します。高密度アプリケーションにおいて、Opus は非常に効率的な DSP コア プロセッサで、同一の消費電力あたり約 2 倍のチャンネル密度を実現します。また Opus は、新しいアプリケーションへの拡張性を考慮に入れた、DSP 機能を越えた豊富なインストラクション セットを提供します。(Opus コアについての関連リリースをご参照ください。)

進化するアプリケーションに対応した柔軟性

Vocallo は、その柔軟性のあるハードウェアとソフトウェア プラットフォームとともに、メディア ゲートウェイ開発者が特定の要件に適合することを可能にします。Vocallo DSP の特長とメリットは、1つのデザインからコストパフォーマンスが高いさまざまな製品を開発できることです。さらに Vocallo は、設計者が独自のソフトウェアを Vocallo フレームワークに組み込むことが可能で、それにより Vocallo を使ったオリジナルな製品の開発を可能にします。

独立アナリスト コンサルタント J Arnold & Associates の所長、Jon Arnold 氏は次のようにコメントしています。「VoIP の導入が増大するにつれ、サービス プロバイダはメディア ゲートウェイを必要とし続けるでしょう。彼らのニーズはますます複雑化し、Vocallo は市場の変化に迅速に適應するために、最大限の柔軟性を提供することでしょう。」

今日のアプリケーションに対応したクリアな音声品質

Vocallo のエコーキャンセレーションおよびボイス クオリティ エンハンスメント (VQE) 機能は、Octasic のキャリアに承認されたアルゴリズムを使用しています。最新の ITU-T 等の基準において、クリアな音声品質を維持するために、Vocallo は、パケットベースのソフトウェア アーキテクチャ上に構築されており、広帯域音声トラフィックをサポートし、最小限のレイテンシでメディアへの接続を処理するように、基本から設計されています。

最新のアプリケーションにも対応

世界中のネットワークにおいて 4 千万の音声ラインが Octasic のキャリアに承認されたソリューションを使用しています。

この優れた実績を基に、Vocallo は、IMS や固定モバイル統合 (FMC) といった最新のネットワーク アーキテクチャとアプリケーションをサポートします。また Vocallo は、強力なリアルタイム ビデオ トランスコーディング、トランスレーティング、会議機能を提供します。

Octasic の社長で CEO の Michel Laurence は次のようにコメントしています。

「過去 10 年間、キャリア装置 OEM 向けに高密度音声ソリューションを設計して参りました弊社の経験が、Opus DSP コアの開発を成功に導いてくれました。Vocallo および後続の製品で Opus DSP コアの使用を通して、Octasic はコストと性能の新しいモデルとともに、プロセッシング プラットフォームを提供して参ります。そして、弊社のお客さまは柔軟性を活かし、より競争力を高めることが可能になります。」

OCTASIC主催 Vocalloセミナー開催

会場: カナダ大使館 (〒 107-8503 東京都港区赤坂 7-3-38)

日時: 2007 年 11 月 26 日 (月)

11:30 - 12:00 受付

12:00 - 13:00 昼食

13:00 - 16:00 Opus コア & Vocallo 最新技術に関するセミナー

セミナーへのご参加は無料です。下記のリンクよりお申し込みください。

当日は昼食の用意もごさいます。

<http://www.octasic.com/japan/seminar>

Octasic について

1998 に設立され、カナダのケベック州モントリオールに本社を構える Octasic, Inc. は、キャリアクラスおよびエンタープライズ、エンドポイント通信機器市場向けのシリコンおよびソフトウェア ソリューションを全世界へ供給しております。特に4年前に市場導入された OCT6100 シリーズのエコーキャンセラチップは、1チップで最大 672ch. を処理できる多機能エコーキャンセラとして高機能、高音質、低消費電力を誇り、日本を含めた世界中の大手通信機器メーカーに御採用されております。

Octasic のスケーラブルな高品質の音声、ビデオ、データ ソリューションは、次世代の機器製造業者に、機能、密度、コストそして電力消費の観点から、高い柔軟性と性能を提供します。詳しい情報は、www.octasic.com をご覧ください。

Octasic は高性能非同期 DSP コアを発表

Opus のクロックレス アーキテクチャはこれまでにない処理性能／消費電力を実現しました

カナダ、ケベック州モントリオール – 2007 年 10 月 16 日 -- メディア処理ソリューションのリーディング・イノベータである Octasic は本日、DSP の基本的なデザインを変える Opus DSP アーキテクチャを発表しました。DSP は通信装置の基本の構成要素です。

Opus アーキテクチャは、DSP 業界で最も深刻な消費電力の問題を解決します。広帯域通信の可能性を最大限に活かせるネットワークを構築することは、あらゆる装置にさらなる処理能力を必要とします。DSP 製造メーカーは、この課題に対応するために、DSP にますます多くの処理能力を追加し続けています。しかし、従来のデザインで DSP を製造した場合、消費される電力はこれら処理能力より早く上昇しています。Octasic は、新アーキテクチャ Opus を使用し非常に高い対消費電力パフォーマンス比を実現することにより、このバリアを取り除きます。

Octasic の CTO、Doug Morrissey は次のようにコメントしています。

「その非同期アーキテクチャを介して、Opus は、従来の DSP アーキテクチャより、ワットあたり 3 倍の性能を提供します。この新しい DSP コア構造はクロックレスであるにもかかわらず、ソフトウェア技術者にとっては使い慣れた、スタンダードな処理モデルを使用しています。このことは重要です。なぜなら、今日の DSP ソフトウェア技術者が、既存のアプリケーションを書き換えたり、再パーティションしたりするために再度新しいアーキテクチャを学習することなく、その機能をフルに活用できるからです。」

低消費電力を実現する他のアーキテクチャは、スタンダードなプログラミング モデルを使用しないため、低消費電力のメリットを実現する方法として、アルゴリズムの開発やコーディングに新しいアプローチを必要とします。これらのアプローチはすべてがプロプライエタリー（独占的に開発された独自アーキテクチャ）なので、ソフトウェア技術者を再訓練してコードを書き換えるのに一旦大規模な投資が行われると、お客さまはそれに縛られることになります。

Opus アーキテクチャの長所の1つは、スタンダードなプログラミング モデルを維持することで、お客さまのアプリケーションとスキルセットにおける投資を失わないようにします。圧倒的な低消費電力を実現する能力は、ソフトウェア技術者がコードを書き換えることなく、マルチコア DSP アーキテクチャを活用することを可能にします。Opus カーネルと統合開発環境 (IDE) は、この高性能 DSP プラットフォームに対応したアプリケーション ソフトウェアを、迅速に開発、テスト、デバッグするのに必要なツールを、ソフトウェア技術者が使い慣れた方法で提供します。従来からの膨大なソフトウェア資産はソースレベルでそのまま継承できるのです。

本日、同時に発表された Octasic の Vocollo マルチコア メディア ゲートウェイ DSP 製品もまた (*Vocollo についての関連リリースをご参照ください*) Opus コアに基づいた初の Octasic の製品です。Vocollo は、メディア ゲートウェイ向けマルチコア DSP の新世代で、次世代製品へ進化する柔軟性と拡張性を備えた、今必要とされる製品を、お客さまが開発できるように設計されています。

Octasic の CEO で取締役会長の Michel Laurence は次のようにコメントしています。

「Opus は、Octasic の将来への鍵となるものです。Opus プラットフォームは、私たちが新しい DSP 通信市場へ進出することを可能にします。Opus は圧倒的な消費電力あたりの処理性能とユーザビリティを妥協しないことを同時に実現し、ディープ・サブマイクロン・ファウンドリ・プロセスの重要性を十分に活用することに適しています。」

Octasic について

1998 に設立され、カナダのケベック州モントリオールに本社を構える Octasic, Inc. は、キャリアクラスおよびエンタープライズ、エンドポイント通信機器市場向けのシリコンおよびソフトウェア ソリューションを全世界に供給しております。特に4年前に市場導入された OCT6100 シリーズのエコーキャンセラチップは1チップで最大 672ch.を処理できる多機能エコーキャンセラとして高機能、高音質、低消費電力を誇り、その非常に高い性能により日本を含めた世界中の大手通信機器メーカーに御採用されております。

Octasic のスケーラブルな高品質の音声、ビデオ、データ ソリューションは、次世代の機器製造業者に、機能、密度、コストそして電力消費の観点から、高い柔軟性と性能を提供します。詳しい情報は、www.octasic.com をご覧ください。